

2017-A		VI94A	
国際機関名 (英語略称)	対日理解促進交流プログラムの要請書を取付け済みの国際機関等 (ASEAN事務局, SAARC事務局等8機関)		
英文名称	Japan Friendship Ties Programs		
種 別	☐ 国連事務局 ☐ 国連事務局に設けられた信託基金 ☐ 国連基金・計画 ☐ 国連専門機関 ☐ 国連その他補助機関 ☒ その他国際機関 ☐ 非国家間機関		
【所管官庁担当局課・室名】外務省大臣官房対日理解促進交流室			
【当該国際機関の本部所在地・活動目的等の概要】			
活動目的等: 対日理解促進交流プログラムは、日本とアジア大洋州、北米、欧州、中南米との間で、対外発信力を有し、将来を担う人材を招へい・派遣し、対日理解の促進、親日派・知日派の発掘、対外発信を強化し、外交基盤を拡充するために外務省が推進している事業。同事業の経費は、対象国・地域を管轄する国際機関等からの要請に基づき、我が国のみが拠出している。対象国・地域において、経済、社会、文化的な発展の推進や、政治・経済の安定の確保等の域内問題に関する協力、関係者のネットワーク作りを目的とし、青少年を含む交流プログラムや専門家が参加する会議・研修等を実施し、日本と対象国・地域の国民間の発展、相互理解の促進を推進している。			
【当該国際機関の財政(2017年)】(千円) 出典: 各機関からの報告			
	総収入(千円)	総支出(千円)	
分担金・義務的拠出金	-	-	
任意拠出金	2,761,310	2,761,310	
会計年度: 各機関による。			
会計検査機関名: 各国際機関等により異なる。(構成員の出身国: 各国際機関等により異なる。)			
【任意拠出金の拠出上位5か国等(2017年のもの)】 (注) 拠出国は日本のみ			
	国 名	金額(千円)	拠出率(%)
1位	日本	2,761,310	100
2位			
3位			
4位			
5位			
【分担金・義務的拠出金の拠出上位5か国等(年のもの)】 出典:			
	国 名	金額(千円ドル)	拠出率(%)
1位	-	-	-
2位			
3位			
4位			
5位			
【我が国による拠出の形態】			
分担金・義務的拠出金の名称及び主管官庁:			
任意拠出金・出資金、基金の名称及び主管官庁: 親日派・知日派育成のための交流拡充拠出金、外務省			
【当該国際機関で働く邦人職員(2017年12月末時点)】			
邦人職員数	56人	当該機関全体の職員数	4206人
うち幹部以上	うち 4人	及び邦人職員が占める率	1%
【邦人職員が占めている幹部ポスト(Dポスト以上)】			
ポストの名称	職 員 氏 名	備 考	
日韓文化交流基金理事長	小野正昭	元メキシコ大使	
日韓文化交流基金業務執行理事・事務局長	春木育美		
日中友好会館理事長	荒井克之		
モーリーン・アンド・マイク・マンスフィールド財団東京事務所ディレクター	倉本照代		
【要人往来、政策対話等の実績】(過去3年分)			
なし			
【備考】			